

令和 6 年 6 月 1 3 日

関西電力株式会社の株主の皆様

京都市長 松井 孝治

関西電力株式会社第 1 0 0 回定時株主総会に提出した
京都市提案への賛同のお願い

原発は、ひとたび大事故が発生すれば、住民の命が脅かされ、くらしや経済活動への影響が過酷なものになることを忘れてはなりません。

京都市では、市会決議も踏まえ、「原子力発電に依存しない持続可能で安心安全なエネルギー社会の実現」を目指すこととしており、電力の安定供給のために、原発に依存しない安定した電力供給体制が構築されるまでの間に原子力発電所を運転する場合にあっては、万全の安全性の確保と立地住民の同意を大前提に、必要な範囲に留めるべきと考えています。

また、関西電力株式会社は、高い公益性・公共性を有する電力会社として、経済・社会のゼロカーボン化や持続的発展に貢献する脱炭素経営に取り組むことが不可欠であり、多様かつゼロカーボンの実現につながるエネルギー源を積極的に導入し、再生可能エネルギーの主力電源化を推進する必要があります。

こうした中、会社法の規定に従い、私どもの要望内容を具体的に訴えることができる唯一の機会として、株主総会の決議事項である定款の一部変更という適法な形式をとり、「原発に依存しない持続可能で安心安全な電力供給体制の構築」、「ゼロカーボン社会の実現」の 2 項目の議案を関西電力株式会社第 1 0 0 回定時株主総会に提案しております。

既に、関西電力株式会社から各株主の皆様へ定時株主総会の議案が提示されていることとは存じますが、改めまして、同封いたしました京都市の提案について、御理解、御賛同を賜りますよう、お願い申し上げます。